

テーマ	固定資産の処理					
学籍番号	/	/	/	/	/	氏名

1. 次の取引について仕訳を示しなさい。

(1) 店舗拡張のため、土地 200 m<sup>2</sup>を 1 m<sup>2</sup>につき ¥15,000 で購入し、登記料 ¥52,000 および仲介手数料 ¥63,000 とともに、代金は小切手を振り出して支払った。

借方		貸方	
土地	3,115,000	当座預金	3,115,000

(2) 備品 ¥500,000 を購入し、代金のうち ¥200,000 は、小切手を振り出して支払い、残額は翌月末に支払うことにした。なお、備品の引取運賃 ¥60,000 と据付費 ¥25,000 は、現金で支払った。

借方		貸方	
備品	585,000	当座預金	200,000
		未払金	300,000
		現金	85,000

(3) 備品（取得原価 ¥700,000、減価償却の累計額 ¥504,000）を ¥300,000 で売却し、代金を小切手で受け取った。なお、減価償却は直接法により処理されているものとする。

借方		貸方	
現金	300,000	備品	196,000
		固定資産売却益	104,000

(4) 車両運搬具（取得原価 ¥1,250,000 残存価額 取得原価の 10%、耐用年数 5 年）を 4 年間使用し、すでに 4 期（決算 年 1 回）にわたって減価償却をしてきたが、この自動車を ¥250,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。ただし、減価償却費の計算は定額法、記帳は間接法を用いている。

借方		貸方	
車両減価償却累計額	900,000	車両運搬具	1,250,000
未収金	250,000		
固定資産売却損	100,000		